

にぎわい

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信

レポート

★ 総会のご報告

8月22日に京都府舞鶴市で平成14年度総会が開催されました。

総会に先立ち、海上自衛隊および舞鶴市のご協力のもと、一般の方々とともに護衛艦「きくづき」による体験航海を行いました。当日は天候にも恵まれ、絶好の体験航海日となりました。航海は東舞鶴(基地)を出航し、舞鶴湾の湾口まで行き帰港する経路で、約2時間に亘って行われました。その間船上では、リアス式海岸の景色に見入ったり、また海上自衛官から船の内部を見学させて頂くとともに、装備についていろいろ説明して頂いたり、なかなか出来ない貴重な体験をさせていただきました。有り難うございました。



体験航海の様子



新潟市長挨拶



舞鶴市長挨拶

さて、総会ですが、まず始めに 代表の長谷川 新潟市長の開会挨拶、江守 舞鶴市長の歓迎挨拶、松浦 近畿地方整備局港湾空港部長の来賓挨拶がありました。続いて総会議事に入り、平成13年度の活動・決算報告の後、平成14年度の事業計画(ホームページの修正、ホームページデータベースの拡充、カレンダー作成を行っていくこと等)、平成14年度の予算案が決定されました。

また、来年度の総会の開催地が新潟で行われることも決定されました。総会后、フォーラムが行われ海上保安学校長の松本政明氏により「これまでの海上保安官人生を振り返って(地域に貢献する海上保安行政)」と題してご講演を頂きました。講演では、海上保安官ならではの貴重な体験談を織り交ぜながら普段はなかなか知ることが出来ないようなことまでご講演を頂きました。



総会議事の様子

引き続き(財)環日本海経済研究所 特別研究員の三橋郁雄氏により『「環日本海大交流時代」と「北東アジア貿易回廊」について』と題してご講演を頂きました。対岸諸国の急速な発展に伴って訪れた「環日本海大交流時代」における北東アジア地域の国際輸送のあり方について、大陸内の重要輸送ルート(「北東アジア貿易回廊」)および海上輸送ルートの現況と今後の展望をお話いただきました。

フォーラムの後に懇親会を行い会員相互の親睦を図り、翌日に現地見学会を開催してすべての日程を終了しました。



松本氏講演



三橋氏講演

ニ ュ ー ス

★ なつやすみ！親子で博多湾現場見学クルージング

(博多港湾空港工事事務所)

7月20日「海の日」の関連行事として、「なつやすみ！親子で博多湾現場見学クルージング」を、8月23日(金)に開催しました。(2回目となる8月30日の開催は、台風15号の接近に伴い中止となりました。)

平成11年度から始めたこのクルージングは今年で4年目を迎え、福岡市民の間では夏休みの恒例行事として根付いてきた催しの一つとなっています。

このクルージングの目的は、自分たちが住んでいるまち、何気なくいつも目にしているまち「博多」を、海上から見ることで新しい発見をしてもらおうと同時に、港が日常生活とどういう関わりをもっているか、またどのような役割を果たしているかなど、港を少しでも理解してもらえることが最大の目的です。

クルージング当日、天候はれ、夏の日差しが照りつけるなか、予定通り午後2時に博多ベイサイドプレイスを出航、今回チャーターした船は、いつもは湾内クルージング船として親しまれている西日本鉄道(株)所有の「マリエラ」。船は東へ進路をとり、中央、箱崎、香椎の各ふ頭の前を通過、目の前に見える貨物船、ガントリークレーンなどスケールの大きさに子供たちはビックリしていました。また、毎日の生活における「食」に関するそのほとんどが四角い鉄の箱「コンテナ」に詰められて



マリエラ



クルージング参加者乗船風景

外国から運ばれてきていることを紹介すると、「こんなものまでも？」といったような驚きの顔が、一緒にきた保護者からも見られました。

船は進路を変え西に向かって順調に航行。その途中1隻の船が本船とすれ違いました。「この船は何をする船ですか？」と質問され、背中向きの筆者は一瞬ドキッ。知っている船であって欲しいと思いながら見ると、それは「土運船」(しめたつ)。当事務所が整備中の航路浚渫について、航路の役割や浚渫船の紹介をわかりやすく説明しました。

さらに船は西へ。福岡ではおなじみのスポット、マリノアシティの大観覧車(直径120mは世界第2位)、福岡ドーム、福岡タワーが見えてくると、参加者は思い思いにそれらをバックに写真に収めていました。

そろそろ飽きてきた子供たちに、念のためにと用意しておいた海に関するクイズタイム。「日本でいちばん深い海は？」「世界でいちばんたくさん船を造っている国は？」など出題すると、静かだった船内はガラリと一変。出題をするごとに「ハイッー！」の元気な声があちこちで。一番盛り上がった10分間でした。

湾内をほぼ一周した船は午後3時30分棧橋に到着。下船するとき、あちこちから「楽しかったね」の声が聞こえてきたときには、「このクルージングをやってよかった」と実感しました。

今後も、当事務所の広報活動の一大イベントと位置付け、もっともっとたくさんの方々に、港に少しでも足を向けてもらえるよう今後とも続けて行きたいと考えています。

また、来年会いましょう。

【今回のクルージングへの応募総数 681名、23日のクルージング参加者 147名】



船上クイズ大会



「楽しかったね！」と下船する子供たち

編集・問い合わせ先

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

九州地方整備局 港湾空港部 港湾計画課

TEL 0832-24-4126

担当:那須、永田

FAX 0832-24-4137